

配当年次・単位・授業形態	2年次	開講期	後期	必修	2単位	講義
授業科目（英名）	公衆衛生看護活動論Ⅱ (Public Health Nursing Ⅱ)					
担当教員名	◎尾崎 美恵子〔専任〕 伊藤 千春〔専任〕 飯塚 ちひろ〔専任〕 神庭 純子〔専任〕 (◎は科目責任者)					
<p>〔授業の概要〕  地域における公衆衛生看護活動を展開するための知識と技術を学習します。  特に対象・健康課題に応じた活動方法や組織化活動の方法について学習します。</p>						
<p>〔到達目標〕  1. 対象・健康課題に応じた公衆衛生看護活動について理解する。  2. 地域における保健活動を展開するための基本技術について理解する。  3. グループ育成支援・地区組織化活動・地域ケアシステムについて理解する。</p>						
回	授業計画	授業外学習（事前学習・事後学習）			担当者	
1	〔災害時保健活動〕災害時保健活動の目的及び災害対策の変遷をふまえて保健師活動の実際について学習する	事前学習（90分）：教科書等を確認し、科目の概要を理解する。 教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			神庭	
2	〔地域精神保健活動（1）〕精神保健の基本理念、精神保健施策の変遷をふまえて精神保健福祉における保健師活動の実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
3	〔地域精神保健活動（2）〕地域における精神障害者の生活特性及び健康課題と保健師活動の実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
4	〔障害者（児）保健活動（1）〕障害者保健の理念及び施策の変遷をふまえて障害者（児）保健福祉の現状を学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
5	〔障害者（児）保健活動（2）〕障害者（児）の生活特性と自立支援、障害者（児）に対する保健師活動の実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
6	〔難病保健活動（1）〕難病保健の理念及び施策の変遷をふまえて難病保健の現状を学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
7	〔難病保健活動（2）〕地域における難病療養者の生活特性と保健師活動の実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
8	〔地域保健活動方法（1）〕健康相談の目的・対象・技術及び健康相談のプロセスについて学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			飯塚	
9	〔地域保健活動方法（2）〕健康教育の目的及び基礎理論をふまえて健康教育のプロセスと方法について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			伊藤	
10	〔地域保健活動方法（3）〕健康診査の目的・対象・技術及び健康診査のプロセスについて学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			伊藤	
11	〔地域保健活動方法（4）〕家庭訪問の目的・対象・技術及び家庭訪問のプロセスについて学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
12	〔地域保健活動（1）〕地域におけるグループ支援・グループ育成支援における保健師の役割とその実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
13	〔地域保健活動（2）〕地域におけるグループ支援・グループ育成支援における保健師の役割とその実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎	
14	〔地域保健活動（3）〕地区組織化活動のプロセスを理解し保健師の役割の実際について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：学習内容を整理する。			尾崎・伊藤 飯塚	
15	〔地域保健活動（4）〕地域ケアシステムの理念・目的をふまえて地域ケアシステムの実際と保健師の役割について学習する	事前学習（90分）：教科書の該当ページを精読する。 事後学習（90分）：科目の振り返り・まとめをする。			尾崎・伊藤 飯塚	
成績評価と基準	授業参加度（授業への取り組み、発表、コメント票による授業理解度の確認）10%、試験70%、レポート20% から総合的に評価します。					
履修上の注意	遅刻や途中入退室は原則認めません。課題提出の際は期日を厳守してください。 遅刻3回以上、及び遅刻30分以上は欠席とみなします。					
全学年を通しての関連科目	公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護活動論Ⅰ・Ⅲ、公衆衛生看護活動展開論Ⅰ・Ⅱ、患者学、家族看護論					
ディプロマポリシーとの関連	本科目は、看護学部ディプロマポリシーの3,4,5と関連しています。					
教科書	荒賀直子・後閑容子編(2020)「改訂第5版 公衆衛生看護学.jp」インターメディカル、東京					
参考書・参考資料等	厚生統計協会編「国民衛生の動向」2019/2020 他、授業の中で適宜紹介します。					
オフィスアワー	尾崎 美恵子 水(12:30~13:30)、木(17:00~18:00) 伊藤 千春 水(12:30~13:30)、木(16:00~17:00) 飯塚 ちひろ 火(12:30~13:30)、木(16:00~17:00) 神庭 純子 火(12:30~13:30)、木(16:00~17:00)					